TOSHIBA

販売店・工事店さま用

東芝レンジフードファン取付説明書

形名 **VFR-36LM**

日本国内専用品
Use only in Japan

●このレンジフードファンの注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくために、この取付説明書をよくお読みください。（形名により図が一部異なります。）
●この取付説明書は工事完了後、お客さまで保管いただくように依頼してください。
●別売部品をご利用ください。（詳しくは、カタログをご覧ください。）
●記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

安全上のご注意

●取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表　示	表示の意味
⚠警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容”を示します。
⚠注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容”を示します。

＊1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2:軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図記号の意味
禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

●取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この取付説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管いただくように依頼してください。

⚠警告

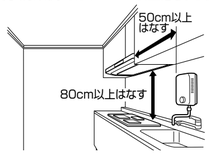
改造禁止	**改造はしない** 火災・感電・けがの原因になります。	給気を確実に	**煙突排気の燃焼器具がある住宅に据え付けるときは、十分大きな空気取入口を別につける** 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
分解・修理禁止	**修理技術者以外の人は分解、修理（※）をしない** 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理は、お買上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。	確実に差し込む	**電源プラグは根元まで確実に差し込む** 火災・感電の原因になります。
アースを接続する	**アースは、確実に取り付ける** 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。アースの取付は、販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。	使用禁止	**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない** 火災・感電の原因になります。
接触禁止	**メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に、金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付ける** 漏電したとき、火災・感電の原因になります。	使用禁止	**電源コードを傷つけたり、加工したり、束ねたりしない 電線に荷重をかけない** 火災・感電の原因になります。
取付禁止	**内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない** 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。	電源プラグに力をかけない	**電源コードはゆとりを持たせ、電源プラグに力がかからないようにする また、つっぱらないようにゆとりを持たせて配線する** 火災・感電の原因になります。
交流100V使用	**電源は交流 100 Vを使う** 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。	ポリ袋破棄	**包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に廃棄または保管する** 頭からかぶるなどすると、口や、鼻をふさぎ窒息する原因になります。

⚠注意

確実に取り付ける	**フード、フィルターや部品は確実に取り付ける** 落下により、けがの原因になります。	使用禁止	**浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない** 感電および故障の原因になります。
確実に取り付ける	**強度のある場所に、確実に取り付ける** 落下により、けがの原因になります。	接触禁止	**運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない** けがの原因になります。
電気工事士が実施	**電気工事は、電気工事士（※）が行う** 電気工事士以外の人が工事すると、火災・感電・けがの原因になります。 ※電気工事士への依頼は、お買上げの販売店、または電気工事店にご相談ください。	手袋着用	**取り付けのときは、手袋を着用する** 手袋を着用しないと、けがの原因になります。
		使用禁止	**指定以外のランプを使わない** ランプカバー周辺が高温になり、やけどの原因になります。 また、火災・感電の原因になります。

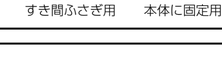
お願い

●ガスレンジの真上、80㎝以上に取り付けてください。
火災予防条例では、80㎝以上必要です。



●湯沸器は、50㎝以上横に離して取り付けてください。
50㎝以下ですと、高温により故障の原因になります。
●取付工事は地域により、防災上での制限があります。
関連法規に従って施工してください。
詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください。
●取付工事は手袋をして行ってください。
●周囲温度が 40℃以上になる場所、薬品を使う場所には取り付けないでください。
故障の原因になります。
●全体換気の必要な所は、他の換気扇との併用をおすすめします。
●次のようなダクト工事はしないでください。

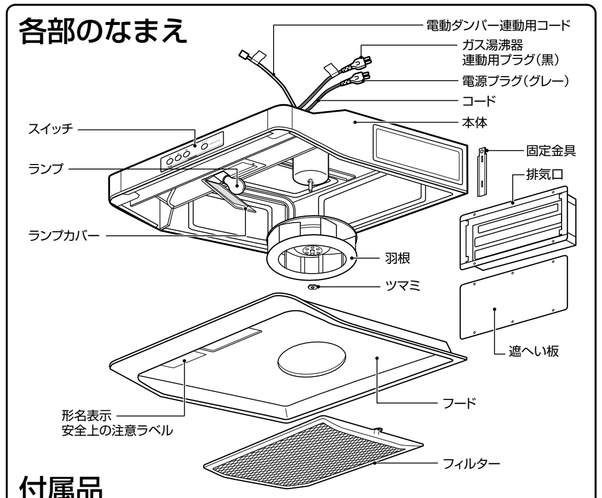
（1）極端な曲げ　（2）多数回の曲げ



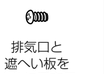
（3）接続ダクト径を極端に小さくする　（4）吐出口のすぐそばでの曲げ

●効率よく排気させるため空気の取入口を部屋の反対位置に設けてください。

各部のなまえ

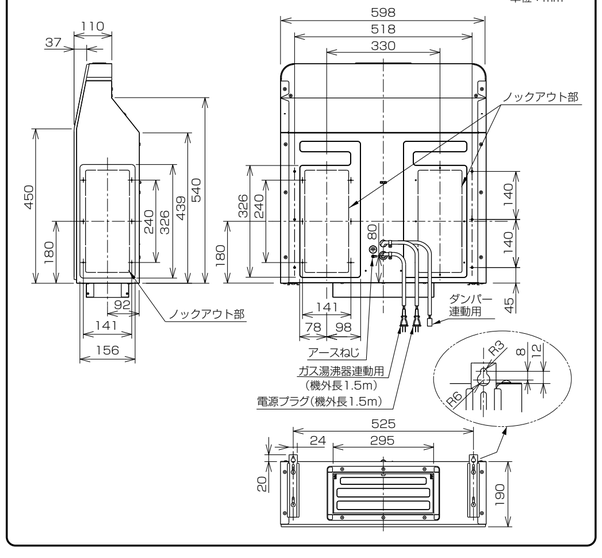


付属品

排気口（1個）	遮へい板（1枚）	木ねじ（2本）	ソフトテープ（1本）	ねじ（12本）
				
背面排気穴ふさぎ用		本体固定用	排気口と本体のすき間ふさぎ用	排気口と遮へい板を本体に固定用

製品寸法図

単位：mm



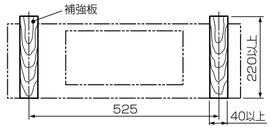
取付方法

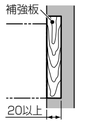
取り付けの前に、取付部の強度をよくお確かめください。取付部が弱いと落下したり振動の原因となりますので、補強工事をしたあと製品を取り付けてください。

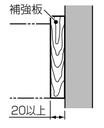
壁に取り付ける場合

取り付ける前の準備

単位：mm





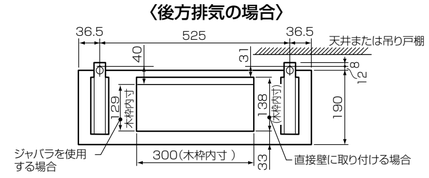


●板張り・土壁の場合
取付部の板厚が 20mm 以下の場合は補強板を柱などに取り付けてください。

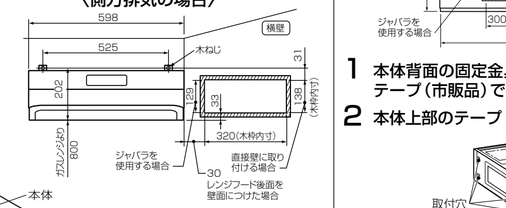
●コンクリート・タイル壁の場合
補強板をコンクリート釘などで固定してください。

木枠の取り付け

〈後方排気の場合〉



〈側方排気の場合〉

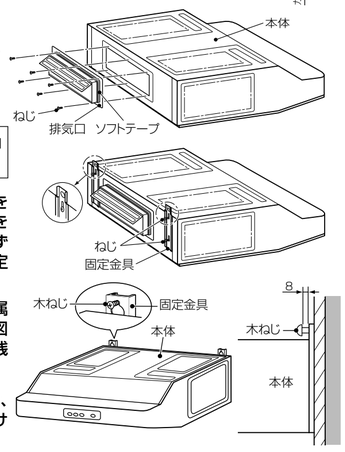


本体の取り付け

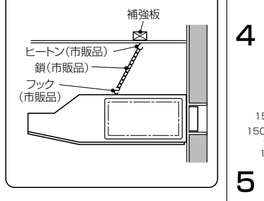
1 付属の排気口に付属のソフトテープを巻き付けます。
2 本体に排気口を付属のねじ（6本）で固定します。

イラストは後方排気です。他の排気方向は「排気方向の選択」をお読みください。

3 本体背面の固定金具（2個）を固定しているねじ（各2本）をゆるめ、固定金具を上方へずらし、ゆるまないように固定します。
4 本体の取り付け位置に、付属の木ねじ（φ4.1×45L）を図のように 8mm 締め付けを残して仮止めします。
5 木ねじに固定金具を引っ掛け、支えながら木ねじを締め付け固定します。

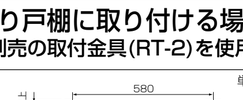


お願い
本体の落下・振動を防ぐため、本体を壁に取り付けた後に市販の鎖・ヒートン・フックで本体を吊ってください。

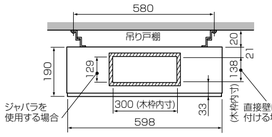


吊り戸棚に取り付ける場合
［別売の取付金具（RT-2）を使用］

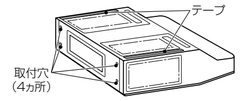
単位：mm



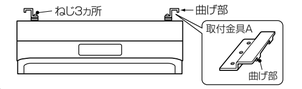
〈後方排気の場合〉



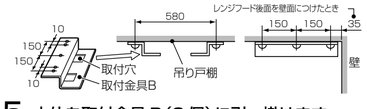
1 本体背面の固定金具取付穴（4ヵ所）をアルミテープ（市販品）でふさぎます。
2 本体上部のテープ（2ヵ所）をはがします。



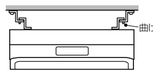
3 本体上面に取付金具 A（2個）を別売部品の付属ねじ（6本）で下図のように固定します。



4 取付金具 B（2個）を吊り戸棚に別売部品の付属木ねじ（6本）で下図のように固定します。

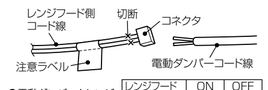


5 本体を取付金具 B（2個）に引っ掛けます。
●取付金具 A の曲げ部が取付金具 B の取付穴にはまるようにします。



電動ダンパーと連動する場合

（1）電動ダンパーの説明書に従い、排気ダクトに電動ダンパーを取りつけます。
（2）レンジフード本体から出ている電動ダンパー連動用コード線のコネクター首下部を切断して電動ダンパーのコード線と接続します。

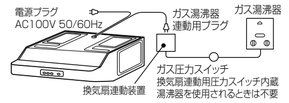


●電動ダンパーとレンジフードの関係

レンジフード	ON	OFF
電動ダンパー	ON	OFF
排　気	有	無

ガス湯沸器と連動する場合

ガス湯沸器の換気扇連動装置の説明書により湯沸器と接続します。



●ガス湯沸器とレンジフードの関係

ガス湯沸器	使用時	未使用時
組み合わせるとき	レンジフードのスイッチ操作に関係なく「強」で運転	レンジフードのスイッチ操作により運転し、「強」「弱」「切」が可能
組み合わせないとき	レンジフードのスイッチ操作に関係なく「強」で運転	レンジフードのスイッチ操作により運転し、「強」「弱」「切」が可能

アースおよび電源の接続

（1）本体天井面のアース端子を使用してアース工事します。
（2）電源プラグをコンセントに差し込みます。

試運転

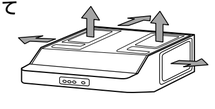
以上で取り付け完了です。
次の点検を行い、異常がないか確認してください。

●製品の強度が十分なこと
●運転したとき異常音・異常振動がないこと
●シャッターの開閉が正常なこと

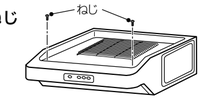
排気方向の選択

後方排気以外の場合

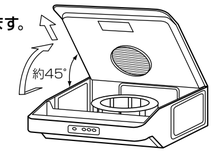
1 建物の構造などに合わせて排気方向を選択します。



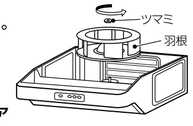
2 フードを固定しているねじ（2ヵ所）をはずします。



3 フードを本体からはずします。
●フードを手前に引いて約45°開き、上に引いてはずします。

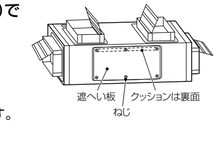


4 本体から羽根をはずします。
●ツマミは“ゆるむ”の方向にまわします。



5 使用する排気穴（ノックアウト部）を木ハンマーなどで打ち抜きます。
●上方は本体外側、側方は本体内側に貼り付けてあるテープを先にはがしてください。

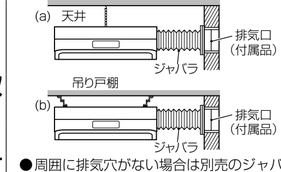
6 背面の排気穴は付属の遮へい板を付属のねじ（6本）で固定し、ふさぎます。



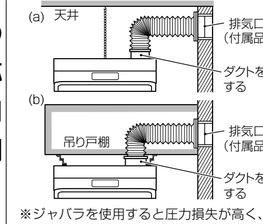
7 組み立てます。
●はずしたときと逆の順序（4→3→2）で組み立てます。

取り付けの応用例

●壁までの距離が長い場合、排気穴の位置がずれている場合は、別売のジャバラを使用し下図のように取り付けてください。



●周囲に排気穴がない場合は別売のジャバラとダクトを併用し下図のように取り付けてください。



※ジャバラを使用すると圧力損失が高く、風量が低下しますので、できるだけ連結箇所を少なくしてください。
（曲げて使用の場合は 2 本、まっすぐ使用の場合は 4 本までにしてください。）